

目標一 乳幼児の読書活動の推進

指 標	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6目標
ブックスタート事業の参加率（％）	71%	71%	69%	57%	62%	66%	70%	80%
区立図書館による乳幼児への貸出冊数（冊）	519,476	526,419	521,106	472,536	594,730	540,142	494,809	550,000
区立図書館によるおはなし会等事業の実施回数（回）	1,408 回	1,446 回	1,012 回	652回	672回	1,029 回	1,071 回	1,500 回
区立図書館によるおはなし会等事業の参加人数（人）	31,852 人	32,789 人	18,464 人	6,731人	6,403人	9,799 人	11,815 人	33,500 人

- 新型コロナウイルスの感染拡大による図書館の臨時休館等により、R2年度に各数値が大きく低下した。
- ブックスタートの参加率は、R元年以降最大となり回復した。
- 対前年度比の乳幼児への貸出冊数が2年連続で減少している。
- 全体を通じて回復傾向が見られるものの、H30年度数値にはまだ及ばない。
- H30年度のおはなし会1回あたりの参加人数が22.68人であるのに対し、R4年度は9.52人、R5年度は11.03人である。
- R5年度のおはなし会の実施回数は、H30年度と比較すると74%にまで回復しているのに対し、参加人数は36%にとどまっており、生活様式の変化によるものなのか、**参加者数の回復が鈍化している。**

R5年度に実施した特色ある乳幼児向け企画等

- ・ぬいぐるみのおとまり会：子供がぬいぐるみをあずけ、本などを読む姿を写真に撮影して、本の貸出につなげる催し（平和台・小竹）
- ・図書館たんけんたい：閉架書庫を含む館内見学やカウンター業務体験などを行う（光が丘・平和台他）
- ・展示「どうぞのいす」：絵本「どうぞのいす」を元に、小さな椅子に絵本を展示し、それを借りる際に自分のおすすめの絵本を置いてもらう企画（大泉）
- ・子育て家庭の読書支援のための図書館利用者向け託児サービス（大泉・貫井）
- ・青空紙しばい／出張あおぞらおはなし会：区立公園で紙芝居や大型絵本のみみきかせを行う（小竹・稲荷山）
- ・英語おたのしみ会：近隣中学の英語部が幼児・児童を対象に英語でみみきかせやゲームを行う。企画・運営すべてを中学生が行う（貫井）

目標二 小中学生の読書活動の推進

指 標	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6目標
小学生の読書率（％） ※2年に1度調査	98.5%	—	97.6%	—	—	96.3%	—	100%
中学生の読書率（％） ※2年に1度調査	93.7%	—	90.5%	—	—	85.4%	—	100%
読書活動推進のための指導計画作成割合（小学校）（％） ※2年に1度調査	80.0%	—	78.5%	—	—	100%	—	100%
読書活動推進のための指導計画作成割合（中学校）（％） ※2年に1度調査	70.6%	—	66.7%	—	—	100%	—	100%
学校図書館の貸出冊数（小学校）（冊）	—	—	—	—	確認中	1,261,196	1,212,150	R3年度より増加
学校図書館の貸出冊数（中学校）（冊）	—	—	—	—	確認中	35,028	42,060	R3年度より増加
区立図書館による学校等への団体貸出冊数（冊）	154,051	152,666	152,078	118,228	114,715	113,190	104,756	160,000
本の探検ラリーの実施校数（校）	63 校	59 校	54校	17校	28校	32 校	41校	65 校
区立図書館による小学生への貸出冊数（冊）	810,437	801,368	834,063	654,645	831,602	810,279	767,874	850,000
区立図書館による中学生への貸出冊数（冊）	159,679	149,479	147,305	116,578	134,040	124,875	116,137	160,000

- 小中学生の読書率はH29年度以降減少が続いている（全国の実書率との比較は次葉を参照されたい）。
- 小中学校における読書活動推進のための指導計画作成割合は、目標値の100%を達成した。**
- 学校図書館の貸出冊数は、R2年度中に全区立小中学校への学校図書館蔵書管理システムの導入により、集計できるようになった。
R5年度数値は、小学校は前年に比べ微減したが、中学校は増加した。
- 本の探検ラリーの実施校数はR2年度以降順調に回復基調にある。
- 団体貸出冊数、区立図書館による小中学生への貸出冊数は、前年度に比べ減少した。

R 5 実績「練馬区子ども読書活動推進計画（第四次）」目標指標の達成状況

目標三 高校年代の読書活動の推進

指 標	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6目標
区立図書館による高校年代への貸出冊数（冊）	83,315	79,981	79,554	67,057	72,637	62,953	53,760	100,000
区内都立高校の生徒の読書率（％）※2年に1度調査	64.6%	—	56.8%	—	—	54.5%	—	74%

- 高校年代は、昨年度に引き続き貸出冊数が前年度の数値より減少している。
- 来館者の総数は増えていることから、図書館の利用の仕方が変容してきているものと思われる。**高校年代の図書館利用を促進していくことが課題である。**
- ただし、全国の読書率（下表）と比較すると、練馬の数値は**いずれの年代も高い数値**となっている。

【全国】 児童・生徒の読書率	H25	H27	H29	R1	R3	R4	練馬 R4
小学生	94.7	95.2	94.4	93.2	94.5	93.6	96.3
中学生	83.1	86.6	85.0	87.5	89.9	81.4	85.4
高校生	55.0	48.1	49.6	44.7	50.2	48.9	54.5

（全国学校図書館協議会「学校読書調査」より）

■高校年代向けの読書推進に関わる主な取組

実施館数	取 組
2 館	青少年コーナーの展示、イベント企画・実施などの活動をする「本友委員会」、「ユースサポーター」を組織するなど高校年代が図書館運営に参画する機会を提供している。
1 館	青少年が書き込めるつぶやきノートの常設
8 館	高校年代による書評やPOPの作成、館内展示の実施
5 館	ビブリオバトルの開催

■高校年代向けの主な企画展示

R5年度に実施した主な青少年向け企画展示
・中学生や高校年代がお勧めする図書の展示
・「高校生ビジネスプラングランプリ」紹介展示
・『コンパス』掲載の図書の展示
・職業案内・学校案内・学習方法紹介の資料を集めたコーナーを青少年コーナーに常設

目標四 支援を必要とする子どもの読書活動の推進

指 標	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6目標
障害等に配慮した資料の点数（点）	22,052	22,214	22,295	22,198	23,411	20,550	20,776	22,900
区立図書館による特別支援学校等への貸出冊数（冊）	1,987	1,839	1,792	1,215	1,211	1,377	2,831	2,100

- 障害者等に配慮した資料とは、点字図書、録音図書、マルチメディアページ等視覚障害者用資料の他、大活字本を含めている。所蔵点数は対前年比で微増している。R4に減となったが、これは大活字本の蔵書冊数の集計方法の変更によるもので、より実態に即した数値となった。
- 視覚障害者用資料はR3年7,767点→R4年7,684 R5年7,674点で横ばいである。
- 特別支援学校等への貸出冊数は、前年度より大幅に増加し、目標値を達成した。

R5年度に実施した主な要配慮者向けの取組

- ・館内での子ども食堂の企画展示、子ども食堂へのリサイクル本の寄付（貫井）
- ・手話付きおはなし会の実施 5 館、6回 96名参加
- ・特別支援学校生徒作品展示（大泉・ひろば）
- ・福祉園・放課後デイ等障害者支援施設での出張おはなし会（関町・南大泉）

目標五 読書活動推進の基盤づくり

指 標	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6目標
区立図書館におけるボランティアの活動回数（回）	1,630	1,655	1,515	1,038	884	1,622	1,683	1,800
区立図書館におけるボランティアの活動人数（人）	8,083	8,336	7,982	4,497	2,682	7,241	7,650	9,000

- ボランティアの活動回数は直近の7年間で最多となった。活動人数も前年と比べ増加しており、おおむね新型コロナ感染拡大以前の数値に回復している。
- ボランティアの人数は、おはなし会や、布の絵本、探検ラリー等の活動参加者数を表している。